申請日	2023/6/22

登録日	2007/7/11

腫瘍名	食道がん

申請医師	長島　敦

通常の投与期間	PDもしくは有害事象がなければ∞回

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　285　分

食道　DTX+NDP

クールの概要

2週間が1クール

1クール　2クール

1 2 3 4 5 6 7　15 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7	15
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓							↓
②	側管1	デキサート パロノセトロン	6.6mg 0.75mg	点滴	15分	↓							↓
③	側管2	ドセタキセル 5%ブドウ糖	30mg/㎡ 250mL	点滴	60分	↓							↓
④	側管3	ネダプラチン 生食	40mg/㎡ 500mL	点滴	90分	↓							↓
⑤	側管4	メトクロプラミド 生食	20mg 1000mL	点滴	120分	↓							↓

注意事項

切除不能・進行再発食道がんの2次治療以降

参考文献

添付文書
Diseases of theEsophagus(2006)19、437-476
Int J Clin Oncol(2007)12:224-227

申請日	2019/3/25

登録日	2019/3/28

腫瘍名	食道がん

申請医師	清水　正幸

通常の投与期間	PDもしくは有害事象がなければ∞回

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　75　分

食道　DTX

クールの概要

3週間が1クール

1クール　2クール

1 2 3 4 5 6 7　22 (DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7	22
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓							↓
②	側管1	デキサート 生食	6.6mg 50mL	点滴	15分	↓							↓
③	側管2	ドセタキセル 5%ブドウ糖	70mg/㎡ 250mL	点滴	60分	↓							↓

注意事項

切除不能・進行再発食道がんの2次治療以降で使用

参考文献

添付文書
k.Muro,et al,Annals ofOncoloogy,15,955-959(2004)
食道癌診療ガイドライン2017年版、日本食道学会編

申請日	2022/9/26

登録日	2022/10/21

腫瘍名	食道

申請医師	三原　康紀

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間:　5 時間　20 分

食道　Nivolumab+FP

クールの概要

4週間が1クール

1クール　2クール

1 2 3 4 5 6 7 15 29

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7	15	29
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓							↓	↓
②	側管1	オプジーボ生食	240mg 100mL	点滴	30分	↓							↓	↓
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓								↓
④	側管2	ﾌｨｼﾞｵ140	500mL	点滴	60分	↓								↓
⑤	側管3	アロカリス パロノセトロンﾊﾞｯｸ デキサート	235mg 0.75mg/50mL 9.9mg	点滴	30分	↓								↓
⑥	側管5	20%マンニットール	300mL	点滴	30分	↓								↓
⑦	側管6	シスプラチン生食	80mg/㎡ 500mL	点滴	120分	↓								↓
⑧	側管7	フルオロウラシル生食	800mg/㎡ 500mL	点滴	24時間	↓	↓	↓	↓	↓				↓
⑨	メイン	フィジオ140	500mL	点滴	2時間	↓								↓
	メイン	フィジオ140	1000mL	点滴	12時間	↓								↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾃﾞｷｻｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	500mL 6.6mg 10mg	点滴	6時間		↓	↓	↓					↓ ↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140	1000mL	点滴	12時間		↓	↓	↓	↓	↓			↓ ↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	500mL 10mg	点滴	6時間		↓	↓	↓					↓ ↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	1000mL 20mg	点滴	12時間					↓	↓			

注意事項

化学療法歴のない根治切除不能な進行・再発の食道がん（一次治療）
オプジーボはインラインフィルター（0.2又は0.22μm）を使用すること。
CVポート等から投与する際、希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上になるように調製する。
　同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。

参考文献

添付文書：オプジーボ点滴静注2022年7月改訂版 シスプラチン2022年3月改訂版フルオロウラシル2022年6月改訂版
N Engl J Med,2022,386,449-62　　国際共同第Ⅲ相試験：CheckMate 648試験

申請日	2023/5/25

登録日	2023/6/13

腫瘍名	食道

申請医師	長島　敦

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

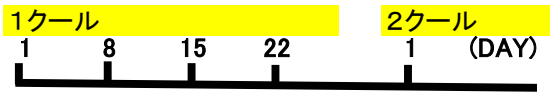
レジメン名

1回に要する時間：　時間30 分

食道-Nivolumab-4w

クールの概要

4週間で1クール
第1日目に投与。



	種別	薬剤	用量	用法	時間												
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	ニボルマブ 生食	480mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の食道がん
術前補助療法により病理学的完全奏効（pCR）が認められなかった患者
インラインフィルター（0.2又は0.22μm）を使用すること。
バイアルは振盪せず、激しく撹拌しないこと。
本剤は日局生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液に希釈し、総液量は60mL以上を目安とする。
CVポート等から投与する際、希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上となるように調整し、投与時にこれ以上の濃度に希釈しないこと。
生食のボトルから空気を抜いてNivolumabを混注すること.

オプジーボ点滴静注　添付文書2020年11月改訂版
ニボルマブ　最適使用推進ガイドライン　2020.2月作成
国際共同第Ⅲ相試験(ONO-4538-24,ATTRACTION3)
Lancet.oncol.20,1506-1517(2019)

申請日	2023/8/16

登録日	2023/8/25

腫瘍名	食道

申請医師	貝原　正樹

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

食道　Pembrolizumab+FP

1回に要する時間:　5 時間　20 分

シスプラチンは最大6コースまで

クールの概要

3週間が1クール

1クール　2クール

1 2 3 4 5 6 7　22

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	2	3	4	5	6	7					22		
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓											↓		
②	側管1	キイトルーダ 生食	200mg 100mL	点滴	30分	↓											↓		
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓											↓		
④	側管2	ﾌｨｼﾞｵ140	500ml	点滴	60分	↓											↓		
⑤	側管4	デキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg 235mg	点滴	30分	↓											↓		
⑥	側管5	20%マンニットール	300mL	点滴	30分	↓											↓		
⑦	側管6	シスプラチン 生食	80mg/㎡ 500mL	点滴	120分	↓											↓		
⑧	側管7	フルオロウラシル 生食	800mg/㎡ 500mL	点滴	24時間	↓	↓	↓	↓	↓							↓		
	メイン	フィジオ140	500mL	点滴	2時間	↓											↓		
	メイン	フィジオ140	1000mL	点滴	12時間	↓											↓		
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾃﾞｷｻｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	500mL 6.6mg 10mg	点滴	6時間		↓	↓	↓									↓	↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140	1000mL	点滴	12時間		↓	↓	↓	↓	↓							↓	↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	500mL 10mg	点滴	6時間		↓	↓	↓									↓	↓
	メイン	ﾌｨｼﾞｵ140 ﾌﾟﾘﾝﾍﾟﾗﾝ	1000mL 20mg	点滴	12時間					↓	↓								

注意事項

化学療法歴のない根治切除不能な進行・再発の食道がん（一次治療）
7コース目からはキイトルーダ、フルオロウラシルのみ継続（①②③⑧のみ継続する）
キトルーダはインラインフィルター（0.2又は0.22㎛）を使用すること。
同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。

参考文献

添付文書：キイトルーダ2022年2月改訂版 シスプラチン2022年3月改訂版フルオロウラシル2022年6月改訂版
Lancet,2021,Aug;398;759-771　ﾌﾟﾗｾﾎﾞ対照無作為化第Ⅲ相試験KEYNOTE590

申請日		登録日	2013/8/9(更新2017/05/11)
腫瘍名	食道	申請医師	建持　岳史

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他(

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　1時間　　30分

食道　PTX-w

クールの概要

7週間が1クール
第1･2･3･4･5･6週目に投与、7週目は休薬

1クール　2クール
1　8　15　22　29　36　43　(DAY)

	種別	薬剤	用量	用法	時間	1	8	15	22	29	36				43			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓			
②	側管1	デキサート ポララミン ガスター20mg 生食	9.9mg 5mg 20mg 50mL	点滴	15分	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓			
③	側管2	パクリタキセル 5%ブドウ糖	100mg/㎡ 250mL	点滴	60分	↓	↓	↓	↓	↓	↓				↓			

注意事項

アレルギーがなければデキサメタゾン6.6mgに減量できる。
0.22μm以下のメンブランフィルター、DEHPフリーの点滴用セットを用いること。

参考文献

申請日	2020/9/26

登録日	2020/10/21

腫瘍名	食道

申請医師	三原　康紀

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

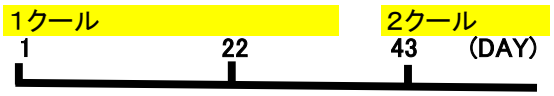
レジメン名

1回に要する時間：　時間65 分

食道−Nivolumab+Ipilimumab

クールの概要

6週間で1クール
第1、22日目に投与。



	種別	薬剤	用量	用法	時間	1					22				43			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓					↓				↓			
②	側管1	ニボルマブ 生食	360mg 100mL	点滴	30分	↓					↓				↓			
③	メイン	生食	フラッシュ	点滴	5分	↓									↓			
④	側管2	ヤーボイ 生食	1mg/kg 20mL	点滴	30分	↓									↓			

注意事項

化学療法歴のない根治切除不能な進行・再発の食道がん（一次治療）
オプジーボはインラインフィルター（0.2又は0.22μm）を使用すること。
CVポート等から投与する際、希釈後の最終濃度が1.9mg/mL以上になるように調製する。
ヤーボイはインラインフィルター（0.2～1.2μm）を使用すること。
希釈後の液は速やかに使用すること。 同一の点滴ラインで他の薬剤を併用同時投与しないこと。
ヤーボイの希釈後の最終濃度は1～4mg/mLの濃度に希釈し投与する。
生食50mLのボトルから30mL抜いて調整する.

参考文献

オプジーボ点滴静注　添付文書2022年7月改訂版
ヤーボイ点滴静注　添付文書2022年7月改訂版
N Engl J Med,2022,386,449-62
国際共同第Ⅲ相試験：CheckMate 648試験

申請日	2020/6/30

登録日	2020/7/1

腫瘍名	食道

申請医師	長島　敦

通常の投与期間	ヶ月、　　年、PDもしくは有害事象出現までの無期限、その他（

投与スケジュール

レジメン名

1回に要する時間：　時間30 分

食道-Nivolumab-2w

クールの概要

2週間で1クール
第1日目に投与。



	種別	薬剤	用量	用法	時間	↓								↓			
①	メイン	生食	100mL	点滴	開始から終了まで	↓								↓			
②	側管1	ニボルマブ 生食	240mg 100mL	点滴	30分	↓								↓			

注意事項

がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の食道がん
術前補助療法により病理学的完全奏効（pCR）が認められなかった患者
インラインフィルター（0.2又は0.22μm）を使用すること。
バイアルは振盪せず、激しく撹拌しないこと。
本剤は日局生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液に希釈し、総液量は60mL以上を目安とする。希釈する場合、1回240mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下とする。希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では本剤の点滴溶液中の安定性が確認されていない。
希釈後の液は速やかに使用すること.

参考文献

オプジーボ点滴静注　添付文書2020年2月改訂版
ニボルマブ　最適使用推進ガイドライン　2020.2月作成
国際共同第Ⅲ相試験(ONO-4538-24,ATTRACTION3)
Lancet.oncol.20,1506-1517(2019)